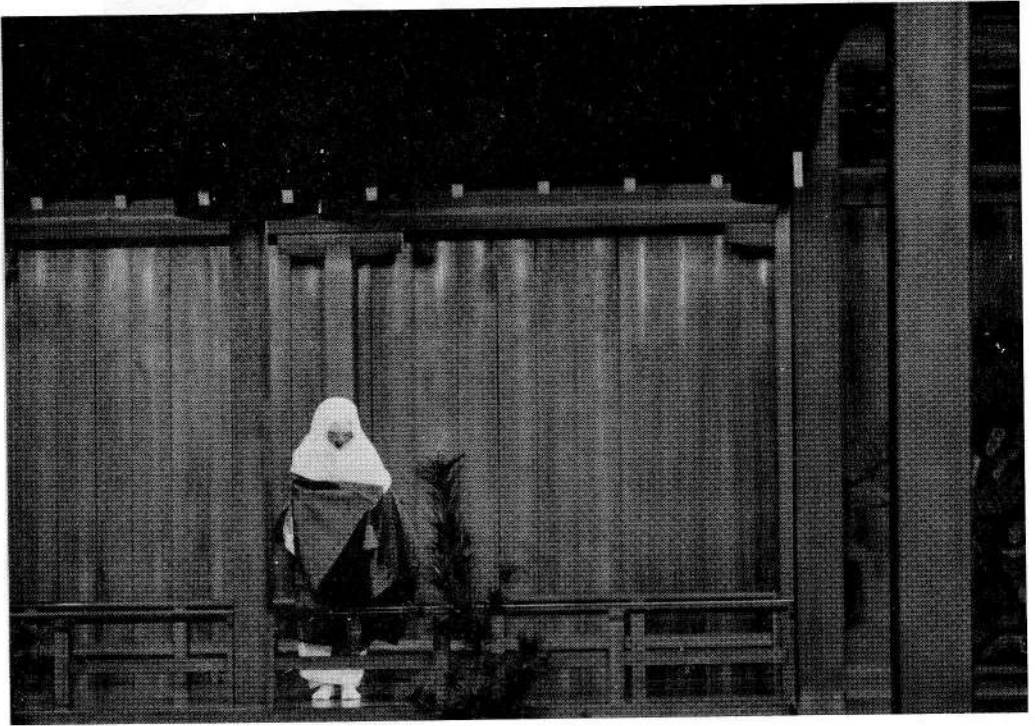


風
韻

第 17 号

(一九七七年度)

神 戸 大 学 風 韻 会



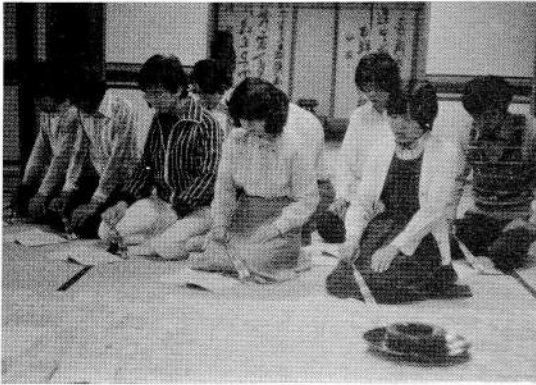
大原御幸 宇治正夫

昭和51年4月17日

於 大槻能楽堂



昭和51年秋季発表会（於 神大学館ホール）



ジュニア合宿（於 大龍寺）

ジュニア合宿（於 大龍寺）



風 韻 第 17 号

	目 次-----1
◎ 六十周年を迎えて-----師 匠 宇 治 正 夫-----2	2
◎ 「基本」について-----会 長 荒 川 祐 吉-----4	4
◎ 先 輩 登 場	
謡 の 周 辺 -----旧一回生 藤 井 茂-----6	6
心 境 -----旧五回生 米 花 稔-----7	7
◎ 四十五周年をひかえて	
座 談 会-----27回生-----8	8
四十五年のあしあと-----編 集 部-----14	14
◎ 今一番興味あること	
無 題-----T28 大 野 誠 一 ---22	22
限りなく広がるおわりのない話---P28 岡 田 裕 子---22	22
未来ある一年生の不安な予感 ---P28 日 下 恵 津 子---23	23
今一番興味あること-----J28 田 中 千 晴---23	23
ガールフレンドについて-----T28 戸 田 真 弘---24	24
食 題-----P28 福 岡 真 裕 子---25	25
人 間 探 究-----養数15 林 陽 子---25	25
◎ OB会報告-----昭和36年 原 敏 郎---26	26
◎ 51年度活動報告	
幹事学年を終えて-----幹事六名---27	27
決 算 報 告-----会 計 中 井 ますみ---29	29
学 連 に 出 て-----T27 岩 崎 誠---30	30
◎ あ し ぁ と 昭和51年度-----31	31
◎ 幹事長就任にあたって-----J27 遠 藤 隆---32	32
◎ 新 役 員 紹 介-----33	33
◎ 昭 和 5 2 年 度 主 要 行 事 予 定-----33	33
◎ 規 約 改 正-----34	34
◎ 風 韻 会 名 簿-----38	38
◎ 伝 言 板-----39	39
◎ 編 集 後 記-----40	40

六十周年を迎えて

師匠 宇治 正夫

一、

今年の六月二十五日は風韻会が誕生して満六十年を迎えることになる。ひとえに皆様のお蔭によるものと、感謝の気持ちにみたまれている。この間、わたくしは芸道一筋に精進し続け、幾多の体験を重ねてきた。その折々の体験を風韻第五号に「五十年の体験」(一)として書き誌してから、毎号連載してきた。今年は六十年という記念すべき年であるので、最も私の肝に銘じた事を考え直し訴えて見たいと思う。

二、

これを一口で言えば、「腹に力を入れて一心に謡う」ということである。もとより能については、七百年の間に幾多の名人上手に依って工夫と洗練が重ねられ、築き上げられた形や掟があり、これを無視しては能・謡は成り立たない。節や間拍子を間違えぬように謡うことの大切な事は言うまでもない。しかし、それにも増して大切なことは、もつと奥深くして高い真髄に迫ることである。それぞれ曲が描く人間の喜怒哀楽にみづからを没入することによって、人間そのものに迫るところに芸術としての意義があり、歎びがあると

言えるであろう。そうだとすれば、どうしたらよいか。わたくしの答は、「ひたすらに腹に力を入れて一心に謡い、しかもこれをたゆまず繰り返すことである。」

腹に力を入れると云っても、無念無想になることが伴い、その間に自然にそれぞれの声や気合が盛り上ってくる筈である。そして、その声は調子良く拍子に合い、その曲のあらゆる条件を備えたものでなければならぬ。これは理想であって、一朝一夕に出来ることではないが、この高い目標(理想と云うか)に向って一心に進むこと。現実には正しき師伝に随い、毎日(たとえ少時間でも)姿勢を正し腹に力を入れて修練することに依って、日一日と理想に近づく極端に言えば、理想に達することは不可能のことであるが、高い理想を持って一步一步それに近づく努力の時こそが真の幸福であり、尊いものと思えるのである。

三、

もう一つ平たく言えば、その人が力一杯努力を続ける間こそ、例えば幼い子供が砂遊びに夢中になって居るのと同じで、最も楽しい時であり、この道に入った時から直ちに摺み得るものであって、健

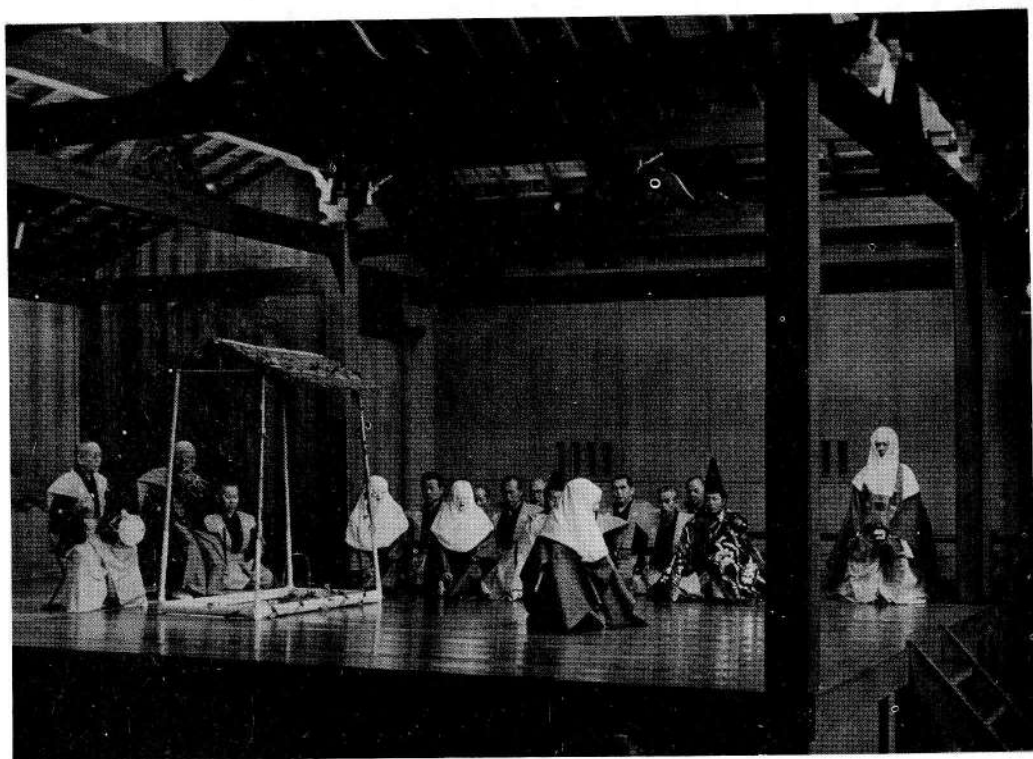
康も増進し少しの労費もなく、誰でもその人の心一つで入ることの出来る極楽境と信ずる次第である。

私の体験では、静座して腹式呼吸を繰返した上で吸い込んだ息を臍下丹田にこめ、目を閉じて天から清らかな水が落ちて頭から体全体を流し清めてくれると思いつら、三十分以上一時間近く続ける。

声に力をつける為、滝の落ちる前で大声で謡う。険しい山中を駆け上り、かけ降り乍ら謡う。洞窟の中で行者になったつもりで一心に謡う。以上のような事を許す限り努めてやったり、無論人に教える時も力一杯心をこめて六十何年を過して、漸く、或程度の成果は得たような気がする。しかし、とても理想はおろか、うぬぼれる等は思いもよらぬことである。

謡は心一つで入門の時から直ちに満ち足りた幸福を感じ、しかも登れば登る程及ばぬ事を知り、おごる気は起こらないが、なおも精進を続けることになる。言わば初心者も達人も同じ境地に浸ることが出来る。

これを風韻の心と思いたい。



「基本」について

会長 荒川 祐吉

昨年だったか、NHK・TVで、川上哲治氏の指導による「野球教室」が放映されたことがあります。

その予告編で、川上氏が語っていた言葉が、妙に私の印象に残っているのです。それは、

「最近、野球をやろうとする人、またやっている人の多くが、とかくプロの選手達のはなやかなプレーをまねたがる傾向が強い。しかし、そのようなうわべだけを、いくらまねても、立派な選手にならない。野球には、野球の基本動作というものがあって、これを身につけなければ、なんにもならない。基本がしっかりしてこそ、はなやかなプレーも、危なげなしにできるのだ。基本を学ぼうとしないで、恰好だけをまねようとするのは邪道であり、本来のその人の持っている能力を、かえってこわしてしまふことになる。どうか野球をやろうとする人、また各地でその人達を指導している方々もこの番組をみて、正しい練習、正しい野球をわかってほしい。」という趣旨でした。私は、この言葉に、ある種の強い感動を覚えたのです。というのは、常々、自分の体験から、私が痛感していることと全く同じであつたからなのです。

私達、学問の世界に身を置く者について、「科学的探究」の「基本作法」を体得することは、プロとしての第一歩であることはいふ

までもありません。この場合、「基本作法」とは、一つは、科学的探求の方法論、基本手続、分析手法であり、いま一つは、学者としての行動準則であります。

ところが、なげかわしいことに、このような「基本作法」のあることを知らず、知っても学ぼうとせず、学んでも十分体得しないまま、生かじりの知識をたよりに、自己流の議論で、一見恰好のよいことをいい、世間の評判を得ようとするような、「学者」が少なくないのです。

ここにあるのは、そのような人々の、精神の荒廃ですが、しかしこのことは、それだけでなく、結局、学問の進歩を、ひいては、社会そのものを、内部から着実に腐蝕していつているのです。このことは、何事にもまして、恐ろしいことです。

こんなことを、私がここで書くのは、謡曲と能の世界でも、事態は同じであり、より一層基本を固めることが大切でないかと痛感しているからです。いうまでもなく、この世界は、長い歴史の間に磨かれ削られ、極限にまで、その精髓が濃縮された世界です。生半可な精神や努力で立入ることを許されない世界でしょう。ここでは、何物にもまして、正しい精神の確立と、厳しい基本技量の練磨とが不可欠でしょう。

呉服・染織 みよしや

本店 神戸大丸前
☎神戸(321)3448・(331)3388(代)
神戸トアーロード
大阪店 阪神百貨店 5階
☎大阪(345)9584
姫路店 ヤマトヤシキ百貨店 4階
☎姫路(23)1221

登録 商標



御菓子司 常盤堂

神戸市東灘区御影中町
電話神戸(851)4677番

学生生活の四年間は、まさにこのような基本を体得すべき、最も貴重で、かつ楽しい年月であるはずです。ここで基本をしつかりやっておればおるほど、その体験が、生涯を通して、人生を豊かにする糧となってくれるでしょう。

いま世界は外向的・量的拡大から、内向的、質的充実へと、その価値観を転換しつつあるように思えます。いまこそ原点をみなおし基本を確立すべき時でしょう。

|| 先輩だより ||

ここでは、日常の発表会等のお知らせの御返事等の中から、適当なものを選んで掲載させて頂きました。

大木 貞男氏(旧二回生)

若い人達が熱心にこの道を励んでおられる様子嬉しく存じます。小生永い間この道から遠ざかってはいますが、ほんとに暇になれば、ポツポツ始めようかと思っております。

白石 秀男氏(旧七回生)

勤務先が東京凌霜クラブと同じビルにある関係で同期生(七凌会)幹事やら当番やら、いつも顔を出し、多くの人達に接触しています。

中川 格氏(新八回生)

御丁寧な御招待状多謝。私達の時は男性ばかりでしたが、女性メンバーの多くなっているのには驚きました。御活躍を祈っております。(ニューヨークより)

松村 有芳氏(新十五回生)

銀行に入ってから、謡曲部会員にはなっているものの、会費を納めるのみで、なかなかウナレない毎日です。

先輩登場

謡の周辺

旧一回生 藤井 茂

謡の文章や文言には、古事や古歌の引用が多く、それが曲目に合わせて美事に組みこまれている。

わたくしは、謡は理屈抜きに謡うべきものであると考えており、文章や句の詮議をすることもなく、また、その柄でもないが、無心に謡っているうちに、その文章の華やかさに陶醉することもしばしばである。昭和四年までの稽古本には、語釈がなかったが、新しい稽古本には語釈がつけてあり、出典も明らかにしてある。わたくしは持っている稽古本は古い分が多く、余り語釈や出典に関心を払わないうで来た。ところが、最近、謡の文章に興味を抱くようになった。一例を挙げよう。

「屋島」の中に、「知者は惑わず、勇者は懼れず」という句がある。何か欠けているような気がして、語釈をみると、論語の「知者不惑、仁者不憂、勇者不懼」が示してあり、ハハんと肯いた次第である。省略法の典型ともいべきか。それにしても、勇者をヨウシヤと読ませるのは何故であろうか。ついでに、惑うと迷うとは、どう

違うかが気になりだした。戸惑うといい、血迷うといって両者の用法には明らかな区別があるが、『大言海』によってみても、両者に本質的な差はないようである。改めて、日本語のむずかしさと、これを使いこなす日本人の高い文化性に気付いたことである。

二、

逆に、謡のお蔭で心が豊かになることも少くない。

昔から言われる謡の十徳はもとよりであるが、ほかにいろいろの功德がある。最近、有朋堂文庫の一冊、古今和歌集を古本屋で見つけた。なつかしさの余り、買って帰った。この文庫は、わたくしの学生時代によく読まれた日本古典文学集で、わたくしはこの文庫本で二年がかりで源氏物語を読んだものである。古今集を読んで驚いたことは、謡の中にいかに沢山この中から引かれているかということである。謡のお蔭で古今集が極めて身近に感ぜられ、一千年も昔の歌人に旧知の感をさえ覚えたことである。

謡をやっていたお蔭で面目を施したことも一再ならずである。ずっと前のことであるが、神戸大学の教官食堂で食後の雑談をしていた際、野村寅三郎先生（交通論、現名誉教授）が何かの話の中で、紡績という言葉は、いつ頃から使われ出したのかなあとという疑問を出された。わたくしは、即座に、「山姥」に「糸繰り紡績の」という文句があるから、室町時代にはすでに用いられていたと思われると答え、博士の野村先生にほめて頂いたことがある。

これは最近のことであるが、南山大学の教員宿舎で、京の銘菓「きりはたりちよう」というのが出され、何の意味かが問題になった。

それは、機織る音で、「松虫」に出てくると説明して、ごほうびに
余分にお菓子を頂戴した。

三、

謡の真骨頂は、舞台に出て謡うことにあることはいうまでもない。
また、見所で能や仕舞を観賞し、謡に聞き入るのも心ゆくわざであ
るが、わたくしにとつての楽しみは、舞台裏のいわゆる楽屋で寛い
でいて、舞台の謡の声や囃子の音をなげなく耳にしていることだ
である。宇治先生の社中に加えて頂いた初期の頃、楽屋で聞く囃子の
音と、囃子方の気迫のこもった掛け声に魅了され、家へ帰って床に
就いてからも耳の中で響きがとまらなかつたこともあつた。

この頃では馴れたせいも、以前ほどの強烈な印象ではなくなつた
が、その代わりしみじみとした呼び掛けを聞く思いで聞いていること
が多い。そんな時が、わたくしの一番仕合わせなときで、学問のこ
とも浮世のことも忘れて、ただひたすらに謡会の醸しだす雰囲気
に浸ることにしている。

それにしても、謡の道にはいつて、わたくしはしあわせである。

(昭和五十一年十二月十八日)



心境

(旧五回生) 米花 稔

昭和五十一年の宇治先生のお宅での納会に参加して、歓談のあと、
いよいよ新しい年も近い気持になつた。

いま現役ではないけれど、先生のお誘いで、時々、会に参加させて
もらつてゐる。毎年の風韻会には、近年、差しつかえない限り出席
してきたけれど、ちかごろ会への参加がやや積極的になつたのには、
私なりの理由がある。この年輩になると、仕事などで正面から忠告
されたり、叱られることは滅多にない昨今、謡会の直前の先生のお
宅でのけいこに、相当きびしく直されることの、なんともいえな
いさわやかさからである。さわやかさという表現が適当かどうか
らないけれど、叱られることが、若さとながつていふこと
かもしれない。現役復帰のゆとりはないものの、あたえられる機
会を大切にしたいというのがこの頃の心境である。

いまから四十余年前、大学入学と同時に大学の風韻会に入るとも
にも、また、個人として上筒井近く雲中小学校の前を少し下つた
ころにあつた先生のお宅に毎週通つたことなど、今なつかしく思
出す。当時も、大学での会、関西六大学の会、社中の参加を得た講
堂での仕舞何十番の会など、かなり盛んであつたが、最近の学生諸
君は、先輩、後輩の相互の修練などは、我々のころより積極的なよ
うに思われる。何より、男女を含めての盛況は、もちろんわれわれ
の時代には、知らなかつたことである。
今後の一層の発展を祈つてやまない。



神戸大学風韻会

四十五周年をひかえて



昭和七年に結成された神戸大学風韻会は、昭和五十二年度には、四十五周年を迎えることとなります。そこで、本号では今年度が発足四十五周年であることをアピールすべく、何か特別な企画を設けようと、ここにこの特集を組むに至った次第です。

△特集その一▽

座談会

幹事交替を終え、新幹事になったばかりの二年生の方々に集ってもらい、昭和五十二年度の基本方針や結成四十五周年をひかえての心構え・抱負について語ってもらいました。
(昭和五十一年十二月十九日 於部室)

司 いよいよ幹事学年ですね。今年は、四十五周年や三大学・四大学の主催校に当たっていて、いろいろと多忙な年になりそうですが、まず各自の今年度にかける抱負について聞かせて下さい。

A まだ実感がないわ。そう、まず皆に時間厳守させたい。それに練習中だらけているところもあるので、それも直したい。部室の掃除も一ヶ月に一日はほしいわ。

決まった事項は早く皆に知らせ、納得させた上で事を運べば、行事などもスムーズに行くのところがうかしら。

不満はたくさんあるけど、それらを幹事学年の間に少しずつでも直して行きたいです。できる範囲で一つ一つ大切に直し遂げて行きたいと思います。

B 私もまだよくわからないけど、失敗しながらでもね、幹事としての仕事を一つ一

つ覚えていかなくはと思っています。学年間での意識のくい違いがあるように思えるから、それを直さなくては。発表会のための練習というの、考え直さなければ：

C 時間厳守というのは、まず自分たちが身でもって知らせる必要があると思う。何でもすべて、自分たちが率先してやっつけていかなければ：：ね。本の扱い等に注意しましょう。また、今年は行事も多い、重大な

年なので、特に連絡は密にしなければいけませんね。

D 僕は方針を少しでも実行したいなあ。

それに、一年間だけでなく、長い目でみて、次年への何らかの方向づけができればいいと思いますね。

E 行事が多いからといって、練習中に幹事が仕事をするのは、いけんね。いつも、練習後だからだとらしとるけど、練習時間のけじめが必要だと思っんです。練習もね、発表会だけの練習であつてはいけません。連絡を密にして、クラブ員全員協力してやつて

いきたいし、先輩が気安く入って来られる様なクラブでありたいな。

F 合理的な計画だけでクラブを運営してはいけませんよ。皆の意見をうまく調整していかなくっちゃ。

時間厳守。もっと厳しさをもって実行しなければいけない。

僕は、他にもやりたいことが一杯あるので、クラブに於いてもあやふやな過ごし方はしたくない。打ち込める様なところを作つていきたいです。皆、考え方が甘いですよ。各個人、責任をもたなくては。うーん、皆をまとめていくことは難しいだろうな。

でも、クラブでは学校の授業等で得られないものを求めたいですね。

G 幹事学年だけで固まってしまうので、もっと皆の意見を聞いて運営していてもいいんところがうかなあ。皆がもっと気軽に何でも話せる場をつくりたい。連絡については、「私は知りません」という事のないようにしたい。今後の課題として、ミーティング形式の改良があると思います。

H 風韻会は謡と仕舞のクラブなんだから、もっと練習すべきですよ。その中から、縦

の関係も生まれると僕は思います。まず、練習方法の改革が必要ですね。発表会にいかげんなものをださないようにしなければ。やはり、幹事学年の連絡を密に。

I 一つ一つの行事について、皆で細かく話し合つていきたい。クラブは練習第一だけど、それによって殺伐とした雰囲気を作つてはいけないと思います。基本方針を具体的にあげて、それを実行すべく努力しましょう。とにかく、一生懸命やるだけです。各自、抱負について語ってもらいますが、皆さんに共通していることは、「時間厳守」「連絡を密にすること」「練習方法の改革」ということです。これらの課題は毎年問題となりますが、あまり実行されていかないようです。皆さん、実行すべく頑張りました。

ところで、今年の大きな行事として、四十五周年をひかえています。皆さんはどのように考えていますか。普通の秋季発表会と考えるのか、別に四十五周年という区切りをつけて考えるのか、そこら辺の点について、考えを聞かせて下さい。

DPEサービス
カラプリント美しい仕上り
阪急六甲駅南出口東へ浜側
六甲ユニ写真店
821-2477

I 今年ね、先輩の人から四十五周年だから能楽堂で発表会をやったらどうかという意見も出てますね。四十周年の時はどうだったんですか。

司 学館で秋季発表会と兼ねて行ないましたね。

E 五年毎にするのですか。

司 そうですね、だいたい。

E 別にね、四十五周年といってもね。

F 伝統の重みを感じますね。でも、普通の会より大々的にやらないといけないのかなあ。

R 学生の感覚と先輩諸氏や先生方の意見や感じ方とは違うからなあ。

F 不思議ですね、二年程前から四十五周年とさわがれて。確かに僕ら期待されてますね。

E そう、いつも学館でやるけんね。今度が変わった所でやらんとね。他大学は能楽堂で発表会してるもんね。

I 学館でやっても、四十五周年と番組に載るだけなら……。

G 毎年同じ発表会だったのが、四十五周年だけ飛び出たような、こう上にとび上つ

たような発表会やったら、何か軟弱なような気がする。四十五周年いうたら、それを記念して、こういうものをやったんやというものにしたいな。

D 僕は、しかし、四十五周年はこう中途半端な気がするなあ。五十周年やったら、わかるけど、それほど、記念という程のことはないと思うなあ。

I 僕は、気分的には四十五周年というのはいいと思うけど。

R 感覚的に五年毎に記念することで、気持ちの持ち方が変わってくるのところがうかな。それに、四十五周年の会をきっかけに先輩方が来てくれるんちがうかな。

司 だいたい皆さん、四十五周年を一つの区切りとして記念すべきものと考えられているようですが、具体的に何か企画を考えていますか。

E いや、あのね、四十五周年の会をして、自演会としての秋季大会をして……ね。

I うちは今年の秋季大会を四十五周年記念大会にしないと無理とちがうかな、スケジュール的に。二つはやっぱり……できるかなあ。

なべ を囲んで 

阪急三宮駅西口前

ご宴会・ご会合は **コトヅキ三宮ビル**

お申込みは 外商課 ☎078(391)8681代

E そこを案外考えんといかんのちがうか。四十五周年はやっぱ頑張らんとね。

I 四十五周年やから、新しいことをやらなければならぬのではなくて、OBの方と接触を密にするために、OB会をつくるための一つの礎として考えているんですけどね。能楽堂でしたら、先輩がたくさん来て下さるとちがうかな。もし、それがうまくいけば、次回からも能楽堂で発表会を行なうメドが立つかもしれないし。但し、予算の面での問題がありますけど……。

司 今、話が出たように、いつも発表会に来て下さる先輩が少ないということが問題になっていますね。確かに、四十五周年の記念発表会ということに意義をもたすならば、先輩方々に来てもらう上で、大きなメリットとなるでしょう。そこで、皆さん、現在の先輩とのつながり、特にOB会結成の動き等についてはどう思いますか。

F 今までOB会がないというのは、不思議ですね。これだけ伝統のあるクラブなのに。

R OB会とはちがって、発表会を基準に考えている傾向が今のところあると思うな。

つまり、発表会に来て下さる先輩が、半ばOBの集まりという感じとちがうか。そんな気がするなあ。

司 OB会から発表会に協賛という形がとれたら素晴らしいという意見が大先輩から出ていますね。



I OB会は作らないけないと思うんですけどね。でも、いったいどういう手順でやればいいのかなあ。

F あまりにも長い間なかったですからね、

先輩の数も膨大な数になっているでしょ。

G 卒業したら、何かの会を作つてね、それに必ず入つて、その中から毎年責任者を作つて、発表会になつたら、その人を中心に同学年に連絡をとつて、その学年で何かを出せたらいいなと僕は思う。

司 学生から先輩に働きかけないと、OB会の結成は先輩の方からというのは難しいでしょうね。

I そう思います。「OB会を作りませんか」というアンケートや呼びかけをする必要があると思います。

H 雑誌「風韻」をもって、寄附金を先輩にもらいに行つた時、先輩から「○○君はどうしてるかね」と聞かれて困りましたもんね。そういう意味でもOB会はぜひ必要やと思います。

E では、その方法とは、
司 例えば、今回名簿を作りますけど、その時、各学年に一人連絡委員をおいてはどうでしょうか。

二年生一同 いい考えですね。

G 寄附金をもらいに行つた時やけどね、その学年では、毎年一回集まっていると

われてました。それで、僕、「なぜ、発表会に来てもらえないんですか」と聞いたたら、「会に行ったら、話をしなければならぬ」という先入観があるんで、行きにくい」と言われたんです。僕らの間で、仕舞や謡でなく、お酒を飲むという形で会をしたたら、もつと先輩方々が集まりやすいんじゃないか。

R そう思うわ。また、先輩に対して、学生の方が気を使いすぎ、恐縮してしても、親しく先輩に話かけられないことや、先輩に対して、何かよそよそしいこと、共通の話題に乏しいことも、問題やと思うけど。

G それもありますね。だから、そういう会を開いて、先輩方も学生の顔を知っていると、発表会にいても、学生と話がしやすいのではないかと、ある先輩が言われてました。なるほどなあと思います。

司 卒業して二、三年の間は、まだ知っている先輩がいるから先輩達もよく会に来て下さいますが、不思議と四、五年たつと足が遠のきますね。

G 僕は高校の時、運動部に入っていたんやけど、今の場合と同じ感じをもちま

た。知ってる先輩がいる時は教えに行っても、話しをしたり親しみを感ずるんやけど、知らん人ばかりやと、何だか自分だけとり残されたという感じをうけてね。OB会を開くと、新しい学年の人とも話ができるし、親しみがわくから、また今度行こうかという気になります。だから、風韻会においても同じやと思うなあ。

E 具体的方法として、まず、若い先輩たちから、順に現役生とコンパをしていって、輪を広げていってたらどうかい。ええじやろと思うんじやが。

I 僕も、クラブに近い人たちを中心にやっていって、広げていっていいと思います。

司 いい案ですね。

I 最初から大きいものを作ろうと思うと、しんどいですからね。

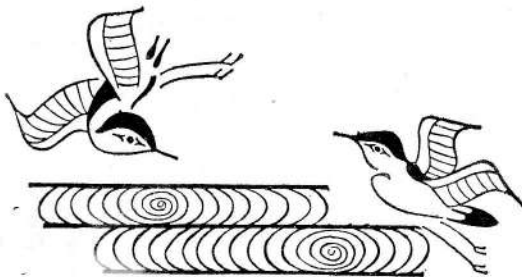
司 皆さんの四十五周年に対する意気込みや、先輩たちとのつながり、OB会に対する気持ちや意見を聞かせてもらいました。

ところで、今年は大東学院大学の発表会も主催校に当たっていますが、何か斬新な企画などありますか。まず身近なところで、三

大学から……。

I まだ、具体的な企画は考えていませんけど、大学間の連絡を密にすることが大切だと思えます。ぼくらだけで決めてしまうと、他校に迷惑をかけるから、連絡が難しいでしょうね。

やはりはずかしくない会にしたいですからね。



司 どういう点がはずかしいと思いますか。
F もたついたり とにかく醜態はみせたくないですから。クラブ内では少し甘えがありませどね、対外的にはそれは許されませんから。

司 そうですね、気をいくら使っても、使すぎるといふことはないでしょうね。
R パンザイ行事に終わってしまわんようにな、意識が大切やな。

司 対外的にはどういふ方針でいくのですか。

A ある程度、対外的にも積極的になつていかないとあかんと思うけど、三大学や四大学の発表会をひかえてるから。でも、内部がためも重要と思うし……。

B 私もまだはつきりわかりません。さっきのOB会の話を書いたら、対内的に重点をおかないといけないという気がするし、かといって、三大学・四大学もおろそかにしたくないし……。

司 学連に対してはどういふ態度で臨みますか。

I 今年は中心になる人(学連副委員長)をうちのクラブから出しているの、頑張

たいと思います。

G 去年は一年生会二年生会は全員参加の方針でいこうと決めて、みんなその気持ちをわかってくれて、うれしかった。その点をよくなったと思うけど、ほくらがみんなをひっぱりすぎて、自主的な姿勢で参加していないという面が出ているかもしれない。自主的な姿勢が大切だと思う。ほくらが押しつけると、みんな押しつくととられてしまうので、それが今年度の課題やと思う。

また、ミーティングの機会をもつて、みんなと話し合っていきたいな。リーキャンなどの討議をクラブ内に持ち帰らなかつたことを反省しています。今年は、クラブ内での意見をまとめて、リーキャンに臨みたい。
F 学連での意見をクラブに持ち帰って、知らせておかないと、行事の日程等、その存在がうすいなあ。目的意識をもつてないとだめだから、みんなに討議結果を報告しよう。

司 幹事交替を(昨日したところ)したばかりの今日、幹事学年としての抱負をいろいろきかせてもらいまして、ありがとうございました。今の気持ちを忘れずに、対内

的にも対外的にも今年一年大変な年になりそうですが、しっかりクラブを運営していただいて下さい。期待しています。そして、皆のチームワークの強化をはかり、必ず行事があつた翌日には、せめて幹事学年だけでも反省会を開き、同じ失敗を繰返さないようにして下さいね。ほんとに今日は、寒い中、朝早くからごくろう様でした。

おわり

洋酒センター

サントリー会館

神戸・三宮生田筋(金剛山地下)
TEL. 神戸(078) 321-4902

●営業時間 PM5:00→PM12:00

※アルバイト歓迎(御世話下さい)

四十五年のあしあと

もとより、風韻会の発足のエピソード、宇治先生はじめ、先生方、先輩の皆様のご活躍などについては、これまで毎号のように掲載されております。そこで、私達は、昭和二十八年以降現在までの風韻会を、構成・合宿・発表会・学園祭などの種々の面から、資料をまとめ直すことにより、その特質・活動の傾向といったものを見つけ出してゆきたいと思えます。本特集が、今後の風韻会の活動の参考になれば幸いです。

I 風韻会の人数と性別構成の変化

最近、わが風韻会内において、女性の人数が増加し、「風韻会は男のクラブ」と胸をはって言うのがはばかられる様な状況にある。神戸大学風韻会は、昭和二十八年から今日まで、どのような規模・構成で変化してきているのかを考えるのが本節のねらいである。風韻会の人数・性別構成を示すと、下表のようになる。

現在、風韻会は、男子十三名、女子十四名であるが、下の表を見ると、その経移がよくわかる。女子が増加しはじめたのは十四回生のころからであるが、十四回生が三年生の年である昭和三十九年は、それまで、姫路と、御影にあった分校が廃止され、鶴甲に結集された年である。資料を見ると、十四回生女子の御三方は、一年の頃から入部なさっていたようである。よって、分校廃止といった大学情勢の変化による影響は少ないと考えられる。すなわちこのことから、

回	生	男	女	計
1		16	0	16
2		9	0	9
3		9	0	9
4		10	1	11
5		12(1)	0	12
6		16	0	16
7		5	0	5
8		14	0	14
9		12	0	12
10		7(1)	1	8
11		14	1	15
12		7	0	7
13		7	0	7
14		9	3	12
15		6	4	10
16		11	3	14
17		7	4	11
18		6	3	9
19		5	5	10
20		4	2	6
21		3	2	5
22		5	4	9
23		2	0	2
24		3	1	4
25		2	4	6
26		2	4	6
27		6	3	9
28		3	3	6
計		212(2)	48	260(2)

(注) 資料 一九七四年発行「会員名簿」
() 内は、物故・脱会者

趣味のきもの

はやし

灘区水道筋1-4-1
☎ (078) 861-2925

いかに有益な書物といえども
その価値の半分は読者が創るものだ
-ヴォルテール-

南天荘書店

本店	国鉄六甲道駅北口 ☎ (078) 851-5725
メイン六甲店	国鉄六甲道駅南口 ☎ (078) 821-0513
阪急六甲店	阪急六甲駅ビル2階 ☎ (078) 871-0130
大阪店	梅田新阪急ビル1階 ☎ (06) 341-7269
中央堂書店	神戸灘中央筋商店街 ☎ (078) 861-5166

風流味処

御宴会の御予約も
受承っております



鍋物・会席料理
やきとり・山菜色々

お座敷風 鳥の店

鳥一東店

神戸市灘区弓ノ木町5-3-17
☎ 822-1350

鳥一

神戸市灘区森後町2-3-17
☎ 851-7512

「風韻会は男のクラブ」という、クラブ気質(?)が変化してきたように思う。女性の数それ自身も変化しており、第一回目のビークは十四〜十九回生、そして第二回目は二十五回生から現在まで、再び低落傾向をみせている。

全部員数を見ると、最初の一回〜四回生までで計四十五名と、非常に活況を呈している。そして八〜十一回生における四十九名という大所帯を最後に、三十余名、三十名足らず、二十数名と、長期的減傾向が見られる。来年度の多数入部を希望する。

(注)人数は、卒業生名簿に基づいているので、卒業時点での人数が示されているため、四年間の計数は、必ずしも、正確ではありません。



「邯鄲」十二段楽

Ⅱ 合宿の目的と場所の変遷

【目的】

合宿は字のごとく「宿」を一同に「合」するの意味なれば当然、そこには裸の人間としての接触が普段よりも一層強く現われ来るは必然の理といえよう。

発表会前には、技術向上重視の強化合宿も行なわれたらしい。

35年 ← 40年 ← 45年 ←

合宿は、日頃の練習不足を補う為、あくまで練習中心、技術向上を目的としたものである。

学舎統合にともない、第一に技術向上を主目的とし、それにプラス親睦となる。学連コンクール最下位の屈辱も大いに影響していると思われる。

45年 ←

全学集会、大学法強行採決封鎖解除、授業再開と、事態が收拾されてゆく中で、団結を図るべく合宿がもたれた。

大学紛争のあおりを受けて混乱したサークル活動を正常にもどすため、合宿も技量向上以上に人間関係の醸成という事に重点がおかれていたようである。

Ⅲ 大学祭園遊会について

昭和37年5月 大学祭園遊会において、串カツ専門「狸々」開店。

赤字財政を助けるために開かれたが、純収益は千円にも満たなかった。そのかわり衛生、品質、経営方針の最優秀店として表彰される。

38年5月 利益を得ることを第一目標、部員相互の協調精神の高揚を第二目標にかかげ、前年同様最優秀店として表彰される。

39年5月 また、総売上六二〇〇〇、純益一九〇〇〇円獲得。成績は第三位。総売上七八〇〇〇、純益一九〇〇〇円を得る。

41年5月 三週連続の雨天で延び延びだったが、どしゃぶりの中、決行。

42年5月 多数の諸先輩が応援に来てくださり、総売上約七万純益三一〇〇〇円を得る。

43年5月 総売上六五〇〇〇、純益三〇〇〇〇円。

分担時間が長い(平均六時間)。皿洗いをサボル人が多いなどの反省が出た。

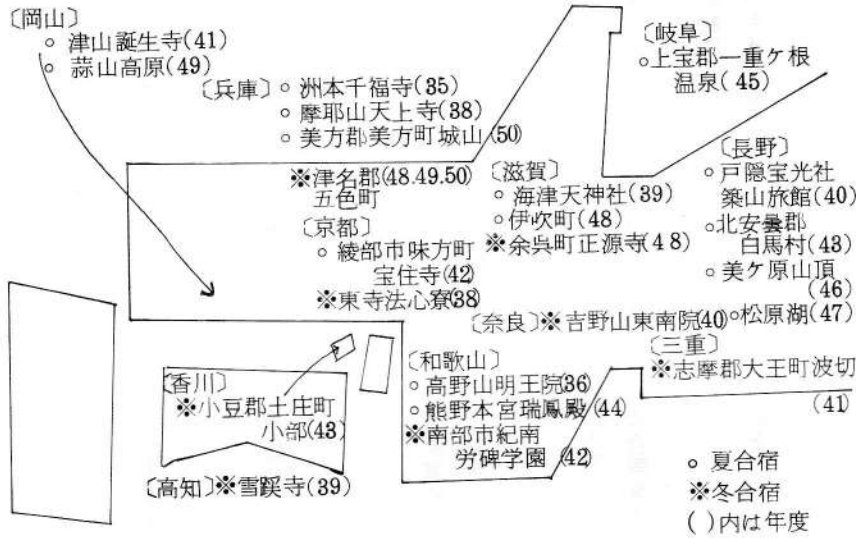
44年5月 学園紛争が激化し、反大学祭であった。

45年11月 5月から11月に変わる。途中で全共闘の連中に屋台をこわされるというハプニングが起こる。

46年11月 全学的催しでなくなり、六甲台祭という形で行われた。そのため純益は二七〇〇〇円にダウン。

合宿場所の変遷

50年 ←

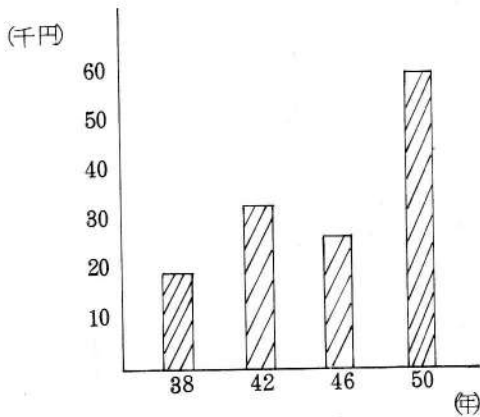


神戸大学風韻会の目的は、
 謡曲・仕舞の習得を通して
 芸術に触れると共に人格を
 向上させることである。
 関係の比重があまりでない
 が現状であろう。

神戸大学風韻会の目的は、
 部員各自のサークル論の相異
 から合宿目的も技術習得と人間

年	純益
47年11月	純益二一〇〇〇円
48年11月	純益二五〇〇〇円
49年11月	十六、十七日と二日間の予定だったが、十七日は雨で中止。部室で探険部と合同の串カツコンバを開き いやというほど食べさせられた。 純益五〇〇〇〇円。
50年11月	「狸々」だけでなく、焼ソバの店「ドラソバ」を一年生が出す。二日間だったので純益五九〇〇〇円 六甲台祭から統一祭となったが、秋季発表会とかさなり園遊会には参加しなかった。
51年11月	

園遊会純益の状況



IV 発表会と学連における変遷

	発表会	学連
七年	商大専門部昇格・鞍馬会から神戸商大風韻会と名称が変わる。風韻会創立。	
八年		関西五大学連盟（大帝大、大商大、関大、関学、神商大）の活動盛ん。関西学生能楽連盟の草分けである。
十八年	「聖戦完遂祈願謡会」「戦勝並出征将士武運長久祈願式」挙行、出征社中武運長久祈願」等の出征謡会盛んに催される。	。学連発表会は、第二十五回まで続けられたが、その後、戦争のため空白。
二十二年		。「能楽研究会」発足。参加校は、大帝大、大商大、神経大、関学、浪速高等学校、夕陽丘女学専、大外専、神工専の九校。
二十三年		。「関西学生能楽研究会」と改称。
二十五年	神戸経済大学、神戸女子薬学専門学校の合同卒業謡会が行われる。	。「関西学生能楽連盟」と改称。参加校は、関学、神経大、神薬大、神女大、阪大医学部、大女薬大、大商大、関西大、大女医大の九校。
二十八年	新制になる。	。委員会制が設けられ、これをもって「関西学生能楽連盟」の発足とする。
二十九年	神戸大学開学記念祭に参加、記念謡曲会を行う。	。六月十三日 第一回春季大会。
三十年		。謡曲コンクール開始。
三十一年	三大学交歓謡会を宝生会と合同で開催。	。第二回コンクール。「草子洗小町」第三位入賞。
三十四年	姫路分校の紅葉会との第一回交歓謡会催される。	。第五回コンクール。「草子洗小町」第三位入賞。

三十五年	このころから、秋季発表会に風韻会社中、学連による賛助出演がなくなる。また、卒業生送別謡会を卒業生歓送謡会と改称されて現在に至る。 神戸女子薬大との合同発表会（四大学の前身）奈良女子大学との合同発表会はじまる。 文化サークル合同発表会に参加。 ジュニア祭サークル発表。
三十六年	このころから、舞囃子が毎年行われるようになる。
三十八年	姫路分校での発表会、最後となる。
三十九年	神薬との合同発表会が甲南大、神戸商科大学を加えて、四大学発表会となる。
四十年	第一回秋季発表会が六甲台講堂で行われる。
四十一年	このころまでは、神戸女学院や関学の自演会に賛助出演することもしばしば。
四十二年	三大学交歓謡会十周年記念大会。 神戸大学風韻会三十五周年記念秋季発表会（素謡九番、仕舞三十八番、舞囃子五番）が行われる。
四十三年	慰問謡会を神戸養老院で行い、喜んでもらう。
四十五年	このころから、文化サークル合同発表会に代えて古典芸能発表会が催され、参加。また、新入生オリエンテーションに参加。
四十六年	秋季発表会で学年別連吟が行われる。

- 。第六回コンクール。「安達原」 第四位。
- 。六月三日 結成十周年記念春季大会。コンクール大会。「巴」最下位。
- 。コンクール大会。「巴」第八位。
- 。学連副委員長 植田勝弘氏。コンクール大会。「巴」第二位入賞。月並会が行われるようになる。
- 。学園紛争のため新入生ゼロの月並会。謡曲コンクール廃止。
- 。合同能「紅葉狩」が行われる。
- 。学連渉外に志智敏一氏なる。批評会が催される。「頼政」

四十七年
四十八年
四十九年
五十一年

神戸大学風韻会四十周年記念謡会が催される。

三大学二十周年記念大会、一ツ橋大学による半能「融」が行われる。

。学連議長に長沢洋一氏なる。
。学連委員長に寺本博行氏なる。連吟大会「鉄輪」
。学連議長に木村升治氏なる。連吟大会「女郎花」

V レパートリーの变迁

最近は合宿曲目＝練習曲目となっているために、新しいレパートリーが増えない。(以前は、合宿曲目と練習曲目は異なっていたので、レパートリーが広がったようである。)特に以前よく練習していた現在のレパートリーに入っていない曲は、千手、放下僧、蟬丸、女郎花、通小町などであろう。

仕舞については、レパートリーは増えていると思われる。以前は、仕舞はしたい人だけがしていたようであるが、現在は部員全員が発表会には必ず仕舞をするからである。

舞囃子に関しては、昭和三十七年より毎年行なわれるようになってきた。その主な曲目は敦盛、忠度、船弁慶、班女、融、松虫、高砂、春栄、小袖曾我、熊坂、小督、芦刈、清経、胡蝶などである。近年は、舞囃子熱が高く、在部中に二回舞囃子を行う人が多い。(特

御集会にどうぞ

六甲パーラー

六甲団地西

TEL 861-6890

下宿館 山水

保証金 100,000円 (解約時20%引)

協力金 10,000円 (入居時のみ)

朝夕2食・風呂付

26,000円～32,000円

入居者受付中 TEL. 871-5937

に女子にこの傾向があるようだ！

なお、全体を通して、昔は謡中心であったようであるが、近年、仕舞の練習比重が大きくなってきており、これもレパートリー数の減少の一因か。

現在練習曲目に入っていない曲

初番目 西王母

二番目 俊成忠度 巴 屋島 通盛 兼平 忠度

三番目 玉鬘 松風 千手 杜若 揚貴妃 野宮 草子洗小町

四番目 蟬丸 松虫 通小町 小督 桜川 百萬 三輪 女郎花

芦刈 花筐 放下僧 卷絹 花月 阿漕 錦木 邯鄲

柏崎 雲雀山

五番目 海士 羅生門 山姥 戊陽宮 車僧 大江山 融 国栖

春日龍神 合浦

現在のレパートリー

初番目 鶴亀 竹生島 菊慈童 嵐山 養老 賀茂 高砂

二番目 田村 橋弁慶 経正 清経 籠 敦盛 頼政

三番目 吉野天人 羽衣 東北 井筒 熊野 半藪

四番目 大仏供養 小袖曾我 富士太鼓 善知鳥 三井寺 班女

鉄輪 葵上 天鼓

五番目 土蜘蛛 狸々 紅葉狩 小鍛冶 殺生石 安達原 船弁慶

鵜飼 鞍馬天狗



ラーメン・ギョーザ専門店

姫路飯店

- 駅前店 (姫路駅地下) ☎ (0792) 81-8952
- みゆき店 (姫路みゆき通ダイエーションパーズ前) ☎ (0792) 82-7743

“学割料金”

70席有り！

今一番興味あること

無 題

T 28 大野 誠一

今一番興味を持っているものを書けということだけれども、今一番興味を持っているものって何だろうと考えてしまふ。もちろん、授業とか勉強ではないし、クラブでやっている謡や仕舞は、当然興味があるけれど、一番興味を持っているというわけではない。

その他、いろいろ興味のあるもの（例えば、マージャンなど）はあるけれども、何か一つ強烈に好きなものがないようである。高校時代の、大学に入ったら何かをやるうという情熱はどこへ行つたのだろう。毎日情性で生きているみたいである。

でも、何かを書かなくてはいけないので書くけれど、その中でもかなり興味を持っているのは、旅行である。ぼくは元来、行動的ではなく、旅行というものをあまりしたことがない。しかし、松本清張などの小説を読んだりして、ああ、旅行っていいなと思うようになった。大学に入って、何回か旅行に行つたが、まだ近畿圏を出ていない。（帰省は別として）だから、今度の夏休みは、北海道や東北あたりに行つてみたいと思う。

忘れていたけど、女のことがあった。しかし、それは、興味を持

つというよりも、実際にある女性を好きになることだから、ここでは省略することにする。

限りなく広がるおわりのない話

P 28 岡田 裕子

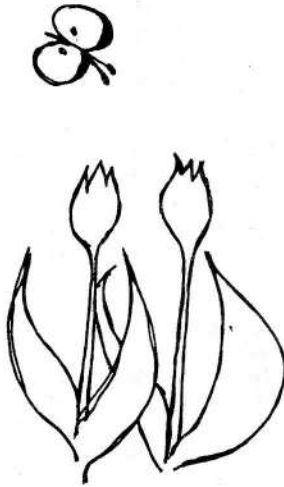
「あの子は、いつでも『食べる事』ばかり考えているのでは。」と、七か月も私と週三回、顔をあわせている風韻会の方々は思つていらつしやるのです。思うだけでなく、これは、いたるところで語られていふようで、私、十九の乙女にとっては、なんとなく、かつこ悪いのです。しかし、皆様の思つていらつしやるように、私は毎日毎日、「食べる事」を考えているのではないのです。これは事実なのです。本人が言っているのだからまちがいないはずで、それでは、いったい私は何に関心を持って生きているのでしよう。まことに、ありふれておりますが「食べ物」に一番興味があるのでないかしらと、このごろ考えるようになってまいりました。将来、私は、どんな様に私のおいしい手料理を心ゆくまで召しあがつていただけるように、料理の腕をあげようと思つています。その近道は、おいしい物を食べることでどこかで聞きましたので「食べ物」に興味をもちはじめたのです。しかし、どんな様がいなければ、どうしようもありません。「女性は、知性、やさしさ、美しさ、このうちの二つを備えていなければ、男性に拾ってもらえない。」やさしさ、美しさはおのづからにじみでてくるもので、ここでは問題にいけません。なんとか知性をみがこうと思うのです。そこで「能」

が登場。どう関係あるのかわかりませんが、とにかく登場なのです。少ししか観ていませんが、あの雰囲気が好きです。すごく疲れますが、鬼が出てくると、私の目が輝くのがわかるのです。そう、私は鬼が大好きなのです。

未来ある一年生の不安な予感

P 28 日下 恵津子

ある朝めざめると、巨大な虫になっていた、という彼の気持ちかわかるような気がする。彼は、自分が虫になることを、ある程度、予測していたのではないだろうか。



私は読書感想文を書こうとしているのではない。変身を読んだのは、もうずいぶん前のことだ。では、なぜあの虫の話を持ち出したのか？ 答えは簡単。私も彼と同じように、巨大なみにくい虫になりそうだからである。

私の中から、一匹の小さな虫が生まれた。いつ生まれたのかはつきりしないが、それは自然発生的に、くしゃくしゃした暗い内臓の中で生まれた。そいつは、私が一晩ねるたびに大きくなっていった。少しずつ、だんだんと。そして、生まれた時は小指のつめよりも小さかった虫が、ふと気がつく、私の身体いっぱい成長していったのだ。

私はその虫の名前を知っている。Iなまけ虫I
泣く子も黙る、おそろしくもみにくいなまけ虫。

なまけ虫は、まだ大きくなるうとしていて、
明日の朝めざめたら、私は天井にへばりついているかも知れない。

今一番興味あること

J 28 田中千晴

今一番興味のある事といえば、「女じゃ女じゃ、女に決まっとる。」と言ったのは、二回生のある先輩である。(敢えて名前を言わないが、その先輩の口からは、ためらいもなく、語気強く、その言葉が出たのです。)しかし、強いて女性のことについてふれないことにする。何となく、暗黙の了解が出来ているように思えるからである。今一番興味のある事。それは、人生を如何にして生きるかである。

なんてことを言うと、皆に笑われそうだからやめる。それにこのよ
うなテーマで書くことは、僕自身を偽って書くようなことになりか
ねないし、心理学の時間中に書いたような覚えがあるので、ここで
は書かない。

それでは、今一番興味のある事は何であるか。能に関する話と仕
舞である。と偉そうなことを書くと、日頃の僕の場合を見ている上
級生に殴られそうである。殴られるということは痛いことである。
痛いということは、身体的、物理的及び精神的苦痛を伴うことであ
るので、そういうことは、僕にとって極力避けるべきことである。

だいたい、この原稿のテーマが「今一番興味がある事」というふ
うに、「一番」という文字がはいっているから書きにくいのである。
(はいっていても書きにくいのだが。)そもそも、興味という
のは、おもしろみ、おもむき、興味のことである。心理学的に言う
と、関心の一種で、特にそのものに引きつけられる感情を伴うもの
である。この多様化した現代社会とその個人において、興味を
ひくものは数限りなく存在し、その対象は日々に移り変わるいゆく
ものである。その中には、長く永久的に残るものもある。

ここで、結論を述べると、来年の「風韻」の原稿のテーマは、も
う少し書き易いものか、もっと書き難いものにしてようではありません
か、上級生の皆様。

ガールフレンドについて

T 28 戸田真弘

最近、町を歩いていても、電車に乗っていても、また大学に行っ
ても、やたらに、男女のカップルを見かけるが、そのカップルを、
いつでも羨望のまなざしで見ている僕は、本当にみじめである。あ
あ、僕にも可愛いガールフレンドがいたらなあ。しかし、所詮、僕
には無理なのである。なぜ無理であるのかを、これからじっくりと、
考察することにしてしよう。まず第一に、顔が悪い。これは、ほぼ決定
的な原因とも言えるかもしれない。人間というのは、常に美を追求
する。なかでも、女性には、この傾向が強い。したがって、三浦友
和等に、女性の人気が集まるのであろう。第二に、背が低い。女
性というものは、体裁というものに、非常にこだわるから、自分よ
りも背の低い男性を、悉く嫌うのである。第三に、スタイルが悪い。
これは、顔が悪い事と、背が低い事と、非常に密接な関係がある事
は、言うまでもない。たとえば、今、美男子が二人いるとしよう。
一方は、細身で、他方は、肥満体である。女性が好きな男性はどち
らか。言うまでもなく、細身の美男子の方であらう。女性というも
のは、太るという事に、異常なまでの恐怖感を持っている。その恐
怖感から脱出しようとして、細いものに執着する。それがもとで、
男性に対しても、細身の男性を好むようになるのである。以上、僕
の独断と偏見に満ち満ちた、幼稚な意見を書いた。まあ、これも愚
かな一男性のひとり言だと思つて、女性の方々は、御許し願いた

い。最後に、一言だけ言わせてほしい。ガールフレンドを持つ事が無理な僕でも、やっぱり、ガールフレンドがほしい。千賀子ちゃん、佐和子ちゃん、京子ちゃん、誰でも良いから、僕のガールフレンドになって。

食 題

P 28 福岡 真裕子

早、七か月が過ぎ、私も何とかこの生活に慣れ親しみはじめた今日此頃でございます。

クラブという所は、私にとって実に有意義な、愉快な大学生活の一部となり、私自身、己れの変化に驚いております。

プラス面もあれば、多少マイナス面もあり、それでも、全部をひつくるめますと、良いような気がいたします。何よりも良い面は、私の胃腸が大変丈夫になったという事でございます。クラブのある日は、生き甲斐を覚えつつ、又、太る恐怖に怯えつつ、日に四食から五食は食べております。このことを聞いた時、母の何と喜んでくださいます。やはり、私としましては、素直に喜んでおくべきなのでございましょうか。しかし、困ったもので、近頃では、恥ずかしいという気持も、どこかに忘れてしまったのか。ただひたすら、どこにいても食べることに専念してしまつたようでございます。これから、除々に除々にと、私というものを取り戻して行きたいと思っております。

人間探求

養数 15 林 陽子

現在、最も関心、興味のあるもの、『人間』特に私のまわりに存在する人々。これらの人々は何を考え、どの様な行動をとるのであるうかが私の最も好奇心をそそる関心事である。口から発する言語とは裏腹の行動、これが一致するのはなかなか難しい。よく言う本音とたてまえである。しかし、そうかと言って本音が見通せることも何だか人間関係が味気なくなるように思われる。仮に片思いの人がいて、その人は何とも思っていないのに、淡い期待を胸に秘めつつ話しをするのも、なかなかどうしていいものである。これがはつきり相手の気持ちに手に取る様にわかつてしまつたら話しにもならない。実像や虚像を取り交ぜてもつ人々と接するのは楽しいことである。真実の姿なんて、自分だつてわからない。少しづつ発見していくことが人間探求の良さだと思ふのである。今日は誰と話そうか。心広き風韻会の人達の暖いとも冷たいとも思える眼で、すくすく育つたこの私、はや九ヶ月を過ぎてしまった。謡はかたこと、仕舞はヨチヨチ、一人歩きもまだできないけれど、可愛い子には旅をさせるとはよく言つたもので、この私も例外にもれずみんなの愛を一身に受けて風韻会から追い出される。世間のきびしい荒波にもめげない様に、風韻会で充分鍛えられたことを胸にきぎんで、横浜の星となりましょう。風韻会 パンザイ!!

神戸大学風韻会

卒業生の集い報告

新九回生 原 敏郎

- 一、時 昭和51年8月29日(日) PM 8:00 ~ PM 7:30
- 二、行事 神戸大学六甲台学舎にて記念撮影又校内散策 六甲オリ
エンタルホテルバーベキューコーナーにて会食懇談
- 三、会費 五〇〇〇円
- 四、出席(敬称略。印発起人)
(先生) 藤井 米花 荒川
(OB) 国重 保坂(1) 佐々木(2) 杉本(3) 堤(6) 長尾(8) 原(9) 佐々木(12)
近藤(13) 戸次(13) 段野(13) 菊地(18) 北本(18) 小川(18) 武内(19) 川辺(19)
河野(20) 米田(20) 志智(21) 小田(21) 木村(21) 山口(22) 横山(22) 寺本(23)
加藤(24) 森(24)
△注 ()内は回生▽
(学生) 浦田 児島 伏見 山岸
- 五、主旨 かつて同じクラブの生活をした者が、謡めきで気軽に集い、夏の一夜なつかしい母校を訪ね、六甲山上で会食をして旧交を暖めようというもの。
- 六、成果 第一回の試みとして、新製の卒業生の皆様を中心に御案内状をさしあげましたところ、東京方面の佐々木氏、近藤氏はじめ右記の通り多数の参加があり、盛会でした。

七、御願

- (1) 第一回の成果に気を良くし、昭和52年(の夏)にも第二回を行ないたいと考えています。皆様の御賛同を御願いたします。
- (2) 全国に散らばっているOB諸君と神大風韻会との心の絆はどうすれば太く、長くなるのか。この古くて新しいテーマに対し皆様方が積極的提言をして下さる様御願い申し上げます。
- (8) さて、わが神大風韻会も創立以来昭和52年には輝く45周年を迎えることとなり、宇治先生の御指導の下盛大な行事が計画されております。皆様方の絶大なる御協力を御願い申し上げます。

スポーツ用品のことなら

御影スポーツ・センター店

神戸市東灘区御影本町4丁目7-17
阪神御影駅前
TEL (078) 811-6314

高級スイス菓子
デンマークパン
サンドイッチ

ケルン

前	神戸	(078)851-7651
阪神御影駅前	神戸	(078)451-0064
北	西宮	(0798)34-2121
国鉄本山駅前	神戸	(078)841-3933
阪急夙川駅前	神戸	(078)453-0572
六甲道生協前	神戸	(078)841-0720
阪神深江駅前	神戸	
本	社	

五十一年度活動報告

幹事学年を終えて

幹事長 今井基博

クラブ運営のみならず、全ての運営において重要なことは、身近な事に焦点を当てた計画と同時に、長期的な展望に立った計画を立てることであり、これは自明のことであると思います。風韻会の現実の問題について考えますと、近い将来OB会を結成するために、いかにして、より多くの先輩が集まっていたべきか、現在の風韻会と馴染んでいただくか、また、その下地をどのようにして作っていくか、ということ、個々の行事において、現在の部員の享受すべき利益をそれとの関係上、どの程度まで尊重すべきかということでした。両者が、一石二鳥で調和できる場合もありますが、調和できない場合、即ち、一方を重視すれば他方を少々軽視せねばならないような場合も少なからずありました。こういう利益考量が必要な場合、私は、前者即ち、OB会結成の方を重視する方法を応々にして採りました。結果は、必ずしも良好とは言えませんが、選択としては、間違っていないかと思っております。

ここで、クラブ員の個々の行事に対する意識について考えてみます。

すと、行事とは、当初は、何らかの目的達成のために設けられたと
思うのですが、最近では、消化するための行事、即ち、終わればよい
のだという意識が、潜在的にあるのではないかと思えます。この意
識を直していくことが、今後の課題であると思えますが、本来の望
ましい形に持っていくには、やはり、クラブの指導者である三・
四年生が自ら考え、事前に部員全員とその目的、趣旨、方法といっ
たものについて、よく話し合うことが必要であると思えます。また、
実際の運営方法については、従来の上級生だけの秘密的運営はひか
えて、下級生も含めて、もっと開かれた運営方法にした方がよいの
ではないかと思えます。

以上、一年間の反省を含めて、感じたことを述べてまいりました。
私を含め幹事一同、この一年、精一杯やってみましたが、いろ
いろ不都合がありました点、お詫び申し上げます。
最後になりましたが、宇治先生、藤井先生、荒川先生並びに諸先
輩の皆様には、常に適切な御指導・御助言を賜りました事、心
より御礼申し上げます。

副幹事長 飯田寿子

副幹事長と学連執行部の渉外とを兼ねた一年でありました。

どちらも中途半端なまま終ってしまったようで、何となく後味の悪い
思いがしています。幹事長の代行という任務では、思いきりのな
い消極的な面ばかり露呈していたのではないかと思っております。

新体制の学連は、馴れあいムードの中に浸りきり、他の執行部の方

々に大変迷惑をかけたことと思います。そんな私を仲間にしてもらい、そして、別れてしまったというのは残念な限りです。何かとせわしいうちにも、他校の人と知りあいになれたのを、何よりの幸運と感じています。また、学連に出てみて、クラブ内の充実ということとを思い知らされたことです。クラブを取るか、学連を取るか、非常迷いました。来年に期待するのは、学連もクラブの上になり立つものであるから、日々の練習を真剣に受け取ってほしいことです。

渉内十文総 山岸 国夫

「光陰、矢の如し。」とは、昔の人はよく言ったもので、まさにその通りのこの一年でした。ふりかえてみれば、何と短いものかと思う。一年の時も、二年の時も、同じ一年間なのに。

さてさて、この一年間、いつたい何をやってきたのだろうか、自分に問いただす時、ハタと困って、絶句してしまふ。あれもやりたい、これもやりたいと、(幹事学年になつたら)一、二年のときから、ひそかに思っていたことも、一部を除くとほとんど出来ずに、計画倒れに終わってしまった。

意欲に燃えて幹事学年になるとき、多くのことを考え、そして一年が過ぎて、ふりかえる時、そのあまりにはつきりした対照に恥ずかしくて、穴に入りたい気持ちになる。あゝあ、ふりかえらなきやよかった。前方だけ見て、がむしゃらに走っている時が一番よかったですね。

そこで今日の一言。

「ふりむくな。前見て走れ、つっぱしれ。あとの始末は誰かがやるさ。気にするな。」

ここまで書いた時、ひよつとしたら、某先輩から、こんなお叱りを受けるのではと。

「山岸君、相変わらずね。進歩ないわよ。」

「スミマセン……。」と、僕。

そうなんです。歩いた方がいいんです。ゆつくりと、まわりを見ながら歩いて来て下さい。僕もそうすりゃよかったです。

書 記 田中 明子

小説の作り方に、筆者が考えることを考えると同時に文に写し替える方法がある。何を書こう、これを書こうと思つて書くならば、それはもう同時ではないのだから難しい。大きな緊張を伴う頭脳労働を必要とする。

しかし、文を書くことを行動に置きかえるならば、不思議と容易になる。私の場合も、行動している時はその行動をしようと考えている時であることが多い。また、行動しようと思つて考える時は、その行動は行なわれないこととなつてゐる。要するに、私があまり計画的な仕事には向いていないということをややくしく言つたにすぎない。(理屈をこねるのも難点であるらしい。)

幹事学年になつてからも、計画的な仕事にはほとんど参加せず、また、まったく実力の伴わない幹事ではあつたが、クラブのことを、

我事のように真剣に思っている自分にふと気付いて、戸惑ったりもした。

書記として一番困ったことは、手紙に記す「時候のあいさつ」である。ある月には、差出人が同一である三種類の手紙を書かなくてはならず、六甲山を見ながら、頭をすきんずきんとさせていた。

初めに述べたような方法で文を作ろうとしたためか、少々分裂した文章を呈してしまった。このように自分勝手な一年間を送ったことを申し訳なく思っている。

会 計 中井ますみ

幹事学年の会計として始めてした仕事は、クリスマス・コンパでした。あの時はもうドタバタで、すこしもコンパがおもしろくありませんでした。それからというものは、コンパ、コンパでやっとなんぱの要領を心得てきた今、バトンタッチです。ホッとしたりよなおしいような気分です。やっぱり幹事学年は2年あった方が、本当の幹事らしい仕事ができるのではないかと思わないでもありません。

ともあれ、会計の仕事をバトンタッチするのはうれしい事です。今年の部費徴収には、みなさんとっても協力的で、時には2ヶ月も3ヶ月も先の部費まではらってくださって、助かりました。私も今度からみんなに「部費ノ部費ノ」といえないのがらよっぴり残念。

決 算 報 告

自 昭和51年 1 月 1 日
至 昭和51年 12 月 31 日

収 入		支 出	
今期徴収部費	185,322	先生謝礼	140,000
先輩寄附金	283,233	三大学	20,500
”風韻”広告料	40,000	四大学	30,300
発表会役員料	181,000	秋季発表会	117,650
繰越金	3,481	歓送謡会	114,260
		学連役料	25,000
		学連費	24,000
		”風韻”印刷費	120,000
		通信費	79,952
		文具費	10,185
		写真代	5,300
		雑支出	1,637
		来期繰越金	4,252
	693,036		693,036

学連委員 松本恵子

クラブ全体が練習熱心で、雰囲気盛り上がり、いい感じになってきたと思います。一、二年生の意欲に励まされ、先輩の指導や助言に助けていただいた一年でした。

幹事であることを自覚し、できるだけ仕事の分担をはかって、クラブの運営に努めるということが、初めの心がけでした。しかし、仕事の性格上、分担できないこともあり、また、幹事どおしの連絡もかたよりがちで、活動に支障をきたしたこともあったと思います。後半、幹事会をあまり開かなかつたことにもよると思いますが、幹事間の意志の疎通が大切だと痛感しました。

学連では、月並会の実行委員として活動しましたが、行事をただ消化するだけではないかと思いつつ、場所の選択や企画面で行きづまり、昨年の追従に終わってしまったことを反省しております。

学連に出て

学連委員 岩崎 誠

学連委員を引き受けてから、はや一年が過ぎ去ってしまいました。が、この一年を振り返ってみると、月並会、一年会、二年生会、春秋の発表会などがありました。このような行事に於いて、今年は大体において全員参加できたことが本当に良かったなあと思っています。僕自身にとっても、一年生会の実行委員長を引き受け、自分

なりに一生懸命やったことで、少しでも学連に貢献できたのではないかと思っています。そして、それと共に、学連の意義というものを再認識した次第です。

また、学連委員は、クラブと学連執行部との橋渡しの役目をしているとよく言われますが、僕は、その橋渡しが充分できていなかったなあとつくづく感じています。全体において、その場しのぎでやってきた様な気がします。この点、深く反省すべきことだと思えます。今後は、学連意識の高揚のためにも、クラブ内で学連について話し合ったりする機会を持つたらいいと思います。それに、学連を盛り上げていくためにも、自主的な姿勢で学連に参加し、また積極的な意見を持つていかなければならないと思います。

今後とも、学連に御協力をお願いします。

朝鮮料理・中華料理・鍋物

金剛山

懇親会・忘年会・新年会予約承ります。

三宮・生田筋

TEL代表(391)1000・(331)5561~4

婦人靴

なかつか

姫路市上久尾町44の1 ☎ (0792)23-3476
姫路市中央卸売市場 ☎ 89-6619
姫路駅東ビル地下ゴールド街 ☎ 85-1208

あしあと

昭和五十一年度

二月

二十九日(日) 謡会 於宝塚ファミリィランド内茶室

三月

一日(月)～七日(金) 春合宿 於兵庫県津名郡五色町

十三日(土) 歓送謡会 於学生会館六階ホール

舞囃子「清経」(児島)「松虫」(森)

「芦刈」(河野)「巻絹」(横山)

宇治先生をはじめ、藤井前会長、栗岡、伊藤、原

段野、高島、河野、志智、木村、小田、城戸、

山中、山口、横山、志岐、加藤、諸先輩が出席し

て下さった。なお、舞囃子「芦刈」は、加藤さん

ん欠席の為、急遽河野先輩に代演して頂いた。

十六日(火) 四年生慰労ハイキング 高雄から嵐山へ。

四月

一日(木)～三十日(金) 新入生歓迎行事参加

二十四日(土) 新入生オリエンテーション 於学館六階ホール

五月

二日(日)～五日(水) 第二十回三大学交歓謡大会

於杉並能楽堂

十四日(金)～十六日(日) ジュニア合宿 於大竜寺

三十日(日) 学連月並会 於仁川ビクニックセンター

六月

五日(土) 新入生歓迎コンパ 於六甲パーラー

二十四日(木) 古典芸能発表会 於学生会館六階ホール

二十七日(月) 学連春季大会 於大槻能楽堂

仕舞三番、連吟一番、舞囃子「敦盛」(伏見正)

七月

四日(日) 四大学合同発表会 於上田能楽堂

三十日(金)

夏季合宿 於滋賀県近江今津

八月

六日(金) 原、戸次、木村、横山、森、木村、諸先輩が参加して下さった。

十一月

二十一日(日) 体育会主催ソフトボール大会 二回戦敗退

二十七日(土) 第四十四回秋季発表会 於学館六階ホール

六甲台祭の一環行事として行なり。

舞囃子「敦盛」(松本)「松虫」(田中明)

十二月

十二日(日) 学連秋季大会 於上田能楽堂

仕舞五番

十八日(土) 謡納会 於六甲台部室

クリスマスコンパ 於三宮金剛山

二十一日(火) 忘年会 於宇治先生宅

「班女」(中井)「融」(飯田)

宇治先生、荒川会長、藤井前会長、栗岡、米花、井口、吉留、牛田、高島、佐伯、木村(寛) 志智、小田、寺本、藤枝、森、加藤(久) 諸先輩が出席して下さった。

幹事長就任にあたって

J 27 遠藤 隆

此の度、次期幹事長という役を引受けるにあたり、身のひきしまる思いとともに、その責任の重さに戸惑いすら感じています。しかし、この大役を引受けた以上、風韻会の伝統を守り、発展させていくべく、努力していきたいと思っています。

さて来年は、我風韻会の四十五周年記念の年にあたるとともに、宇治先生の会の六十周年にもあたるという、非常に記念すべき年で

これが本物!!

純正手焼き

神戸あられ

(株) さくら屋

神戸市灘区水道筋5丁目1番10号
PHONE: 078-8020345 (代)

お食事と喫茶

エクラン

《御集會に御利用を》

市バス六甲登山口前
☎ 861-5210

ありますので、私達も今までも増して稽古をしていかなければならないと感じています。また、対外的にも来年は、行事が多いのですが、いたずらにその行事に流されることなく、対処していきたいと思っっています。とにかく、この重要な年を、ただ「いそがしい」だけで過していかないようにしなければならぬと思います。つきましては、宇治先生、顧問教官並びに諸先輩方々の御指導をお願い致します。幹事長就任の挨拶にかえさせて頂きます。

※※※
新役員紹介
※※※

幹事長	J 27	遠藤 隆
副幹事長	P 27	樽本 玲子
渉外	J 27	大西 章博
渉内	A 27	井戸 正二
書記	P 27	松井 令子
會計	P 27	黒川 昌代
文総	J 27	魚田 豊彦
学連	T 27	岩崎 誠
	P 28	福岡真裕子
学連副委員長	E 27	伏見 和政

昭和五十二年度主要行事予定

3/1(火) } 3/7(月)
3/14(月)
3/19(土)

春合宿
歓送語会(於六甲台講堂)
四年生慰労ハイキング



本店 六甲本通り TEL 851-2096
高羽常盤木バス停前 851-4512

大衆酒場

コンパにどうぞ

ぜい六

市電六甲口下ル西角
電話 (851) 4 7 8 7

4/1(金) } 5/31(火)
5/2(月) } 5/5(木)
5/中
5/末
6/初
6/末
7/3(日)
7/末
8~7/初
11/末
12/初
12/末

新一年生勧誘月間
旧三商大合同発表会(我校主催)
新一年生歓迎ハイキング
ジュニア合宿(二年主催)
新入生歓迎コンパ
学連春季大会
四大学合同発表会(我校主催)
夏季合宿
秋季発表会(四十五周年記念)
学連秋季大会
クリスマスコンパ

神戸大学風韻会規約改正

神戸大学風韻会規約は昭和四十一年度に決議されましたが、その後、クラブにおける活動状況も変化し、規約と活動内容を一致させることが難しくなってきました。それは特に、幹事長の選出、総会、春合宿についてですが、昨年度、前記事項についての改正案が出されました。総会をもってこれを承認し決議されましたので御報告いたします。

神戸大学風韻会規約

第一章 総 則

(名称)

第一条 本会は神戸大学風韻会と称する。

(所在地)

第二条 本会は本部を兵庫県神戸市灘区六甲台町神戸大学内に置く。

(支部)

第二条ノ二 幹事長が必要と認めるときは総会の承認を得て、学部または教養部に支部を置くことができる。

(目的)

第三条 本会は能芸術の追求に努めるとともに会員相互の研鑽を行い、親睦を図り、また能芸術の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条

本会は前条の目的を達成するために日常的な活動の外に次の事業を行う。

- 一、毎年一回の定期発表会
- 二、機関誌等の刊行物の発行
- 三、毎年、春・夏合宿の開催。ただし、春合宿については、別記細則についてこれを定める。(挿入)
- 四、その他前条の目的を達成するために必要な事業

第二章 組 織

第一節 会 員

(構成)

第五条 本会は神戸大学生をもってこれを構成する。

(会員の権利義務)

第六条 会員は本会の活動に参加する権利を有し義務を負う。
2 会員は所定の会費を納入しなければならない。

(顧問)

第七条

本会に総会の承認を得て顧問を置くものとする。

- 2 顧問は幹事会の諮問に答え、または本会の運営について意見を述べることができる。

第二節 総会

(総会の権限)

第八条

総会は次の事項について決議する。

- 一、本会の活動計画に関する事項
- 二、予算及び決算に関する事項
- 三、規約の改廃に関する事項
- 四、幹事の承認及び解任に関する事項

(選任)

五、その他本会の運営に関する事項

(総会の招集)

第九条

幹事長は一月、十二月の年度始終に定期総会を招集しなければならない。

(幹事長は少なくとも半年に一回総会を招集しなければならない。)

2

幹事長は次の場合総会を招集しなければならない。

- 一、全会員の三分の一の請求のあるとき。
- 二、幹事会が必要と認めるとき。

3

幹事長は必要と認めるときは総会を招集することができる。

(定足数及び議決)

第十条

総会は全会員の三分の二以上の出席により成立し、その議決は出席会員の三分の二以上の賛成を得なければならない。

(総会は全会員の過半数の出席により成立し、その議決は出席会員の過半数の賛成を得なければならない。)

(議長)

第十一条

総会の議長は幹事長が指名する会員がこれに当る。

(幹事)

2

議長は書記を指名し総会の議事録を作らなければならない。

(オブザーバー)

第十二条

幹事会が必要と認めるときは総会に会員以外の者を出席させることができる。

第三節 幹事会

(幹事会の権限)

第十三条

本会の運営は幹事会がこれを決する。

(幹事)

第十四条

幹事は総会においてこれを承認する。

(選任)

2

幹事は正当な理由なくしては解任されなす。

3

幹事の任期は一月一日より十二月三十一日までの一年とし、再任を妨げなす。

(幹事の任期は一年とし再任を妨げなす。)

(役員)

第十五条 幹事会は互選により次の役員を選任する。

- 一、幹事長
- 二、副幹事長
- 三、会計
- 四、その他幹事会が必要と認める役員

(幹事長)

第十六条 幹事長は本会を代表し、本会の業務を総括する。

2 幹事長は次の場合幹事会を招集しその議長となる。

- 一、幹事の請求のあるとき
- 二、その他幹事長が必要と認めるとき

(副幹事長)

第十七条 副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときは

その職務を代行する。

(会計)

第十八条 会計は本会の会計事務を処理する。

(議決)

第十九条 幹事会は全幹事の過半数の出席により成立し、その議決は出席した幹事の三分の二以上の賛成を得なければならぬ。

(入部)

第二十条 本会に入部しようとする者は、幹事長に願い出てその

許可を得なければならぬ。

2 入部を許可された者は所定の入会金を納入しなければならぬ。

(休部)

第二十一条 一ヶ月以上活動を休止しようとする者は、少くとも一

週間前に理由を添えて幹事長に願い出て、その許可を得なければならぬ。ただし、緊急の場合はこの限りでない。

2 前項の休部期間は六ヶ月以内とする。ただし特別の理由を認められるときは、さらに六ヶ月以内の休部を許可することができる。

(退部)

第二十二条 本会を退部しようとする者は、少なくとも一週間前に

理由をそえて幹事長に届出なければならない。

(除籍)

第二十三条 総会は、次の場合には当該会員を四分の三以上の決議

を経て除籍することができる。ただし、幹事長はあらかじめ当該会員に弁明の機会を与えなければならぬ。

- 一、正当な理由なくして三ヶ月以上活動を停止したとき。
- 二、本会の諸活動を著しく阻害するとき。

2 前項の規定によるほか、会員は本会の会員たる資格を

奪われなく。

第三章 入部、休部、退部、除籍

(再入部)

第二十四条 退部者の再入部は、これを妨げない。

第四章

(経費)

第二十五条 本会の経費は育友会費、国費、会費その他をもつてこれに充てる。

(会費)

第二十六条 会費及び入会金の額は別にこれを定める。

第二十六条の二 既納の会費はこれを返還しない。

第二十六条の三 休部期間中の会費は、これを免除する。

(改正)

第二十七条 本規約の改正は幹事会又は会員が発議し、総会において全会員の四分の三の賛成を得なければならない。

(本規約の改正は幹事会が発議し、総会において全会員の四分の三の賛成を得なければならない。)

以上

眼鏡界初の
メンバーシステム

超技術

メガネの

和光

メイン六甲Aビル
841-4553

高級呉服・趣味の京染

むつ美

市バス六甲口より下る
電話 (851) 0244・0261

文具・事務用品

文具の

スズヤ六甲店

神戸メイン六甲2階
☎ 078(821) 6606

。風韻会に結婚の波ノ

10月16日 学連で咲いた花、四年目に実を結ぶ

寺本博行氏(二十三回生) 川崎由起子嬢(武庫川大)と御結婚

11月13日 山中明氏(二十二回生) 志岐佳代嬢(二十二回生)御結婚

1月15日 長沢洋一氏(二十二回生) 荻田久子嬢(二十一回生)御結婚

両カップルともに、風韻会で咲いた恋ノ

2月 中崎和美(旧姓佐伯)さん(二十回生)御結婚ノ

。夏のOB会、六甲オリエンタルホテルにて催されるノ

。就職決定

浦田理一郎氏 西日本建設業保証(株)

伏見 正章 東レ

小島 政章 竹中工務店

岡崎 啓子 三井銀行

香西 千秋 (株)マギ

広野勢津子 教員

田中 恭子 教員

板

言

伝

編集後記

ここに「風韻」第十七号をお届け致します。発行に当り、原稿をお寄せ頂戴いた皆様にまずもって深く御礼申し上げます。

今号は、神戸大学風韻会四十五周年を迎えるに際し、「四十五周年をひかえて」というテーマのもとに、新幹事学年による座談会および、四十五年のあしあとを企画・特集してみました。また、此度、規約改正が行なわれましたので、それも合わせて掲載致しました。

原稿の面につきましては、当初の編集方針では各学年の先輩諸氏から原稿をと思っていたのですが、実現出来ませんでした。編集委員の努力不足をお詫び致しますとともに、今後の先輩各位の御協力をお願い申し上げます。

最後に、宇治先生はじめ、先輩諸兄の御健康と御活躍をお祈り致します。

編集委員

伏見 正章
小島 政章
岡崎 啓子
香西 千秋
田中 恭子
広野勢津子

雑誌からコピー印刷まで……

昭和52年4月8日 印刷
昭和52年4月11日 発行
発行所 神戸大学風韻会
神戸市灘区六甲台町
印刷所 みなと出版印刷株式会社
神戸市灘区浜田町2丁目5の3
電話 821-8331(代)

みなと出版印刷(株)

阪神新在家下車東150米高架下12-11
TEL.(078)821-8331(代)

事務・製図(用品)・スチール製品・碁・将棋(盤)
書籍・雑誌・はん・ゴム・印刷

古書誠実買受

小牧文具書店

神戸市東灘区御影本町2丁目15-25
TEL.(078)851-3286・841-9024

宴会ホールも増えて広くなりました
忘年会、新年会、コンパにご利用下さい
宴会パック 1人2,000円より
鍋 パック 1人2,000円より

中華菜館 **六甲苑**

阪急六甲駅北側2・3・4階
☎ 821-4868・851-6970(代)